

第27回あったか天草椿まつり開催



大江地域づくり振興会だより

発行 第60号

【発行責任者】
大江地域づくり振興会
会長 嶋田順一

【連絡先】
大江地区コミュニティセンター
住所：大江7480番地5
電話：42-5225

第27回あったか天草椿まつりが3月4日(日)、西平椿公園で開催されました。開始式に続いて天草のご当地アイドルMONNECO5(モネッコファイブ)によるステージ歌謡ショーがありました。一昨年、昨年に続いて3回目の出演でパフォーミングスも賑やかでした。続いて天草市役所牛深ハイヤチームによる牛深ハイヤ踊りが披露されました。力強く、しなやかで、滑稽で新鮮で、勇ましく響く調べと鮮やかな踊りに、会場はとて盛りの上がりました。バザーでは、ウチワエビが入った海賊鍋、大江豚を使ったバーベキューやスベアリブなどに舌鼓。会場内では椿油やこつばなど、特産品の販売が行われました。また、昨年から行っているスタンラリーでは、公園内のあこうの木や展望所などの3箇所のチェックポイントでスタンプを押すと、ゴールで紅白もちをプレゼントするイベントも実施され、健脚向きの遊歩道をたくさんの人たちが散策しました。正午からは、西平カメリアクラブによる椿油の搾油実演も行われました。また、恒例の椿スケッチ大会では60点の応募があり、10人の入賞者のうち9人は天草町外の方でした。椿まつりの来訪者が遠方から増えてきていると思われます。

(文・西口廣治)



新区長さんが決まりました。
2年間宜しくお願ひします。
(代は代表区長です)

軍ヶ浦区	唐崎区	横浜区		野中区			越崎区		中央区		浜里区		
		横浜西	横浜東	田 淵	黒 勘 根	芙 頭	西 平	道 向	越 崎	里	桑 鶴	西	
		(代)			(代)		(代)				(代)		
里見 博光	嶋田 順一	木田 一幸	濱田 正博	井戸 栄造	平山 静利	川口 明	白迫 修一	松山 隆喜	松本 明生	森下 一茂	赤崎 保章	木本 司	川邊 雅彦

100歳 おめでとうございます

峠スエギクさん 大正7年1月11日生まれ

住所：大江軍ヶ浦

近況：1月19日に、中村天草市長が訪問され、お祝いの花束と表彰状を渡されました。市長のお祝いのことばにも、しっかりと丁寧にお礼の言葉を述べられました。日本一の長寿さんを目指して下さい。



おじいちゃんおばあちゃんのひな祭り

2月27日、大江コミュニティセンターにおいて、70歳以上一人暮らしの人を対象に、『おじいちゃんおばあちゃんのひな祭り』が開催されました。

当日は良い天気。おじいちゃんもおばあちゃんも、ちょっとおしゃれをして、少し緊張気味。でも会場に入り、久しぶりに会う友人を見つけては「元気しとったかな」と、相好を崩して旧交を温めておられました。

会場には豪華な雛飾り。併せてボランティア団体『カラスミーズ』の皆さんが、華やかな着物姿やドレスで、踊りや歌を披露されると、次第に場も盛り上がり、懐メロと一緒に口ずさむ姿も見受けられました。

皆で歓談しながらの昼食。ちらし寿司と、アオサ汁に「香りの良かな～おしかなあ」と、喜んでくださり、終了後は「今日は出てきてよかった。また会おうわいなあ」と帰って行かれました。

主催した社協と、協力した民生児童委員も幸せな気持ちで参加いたしました。(大江地区民生児童委員 橋野君佳)



平成30年 天草地区成人式

平成30年1月3日(水)、高浜地区コミュニティセンターで平成30年天草地区成人式が開催されました。今年の日草町の対象者は26名で大江地区対象者が8名でした。

新成人の門出を祝い迫力ある西海荒波太鼓の演奏で始まった式典では司会も新成人が務めました。来賓の方と、恩師からはお祝いの言葉が贈られ、親族そして地域の方が見守る中、新成人からは誓いの言葉が述べられました。

また、サプライズで現在活躍中の天草出身ロックグループ【WANIMA (ワニマ)】のお祝いメッセージもあり、会場は歓喜に包まれました。

式典終了後は、久々に会う恩師や友人と話を弾ませ、喜びを分かち合っていたのが印象的でした。

(広報委員 竹本)



(大江出身)
後列左より 吉村、西田、堀田
前列左より 白井、濱田、竹本

今年も下記のとおり実施します。
ご家族や、大江以外の親戚、友人・知人の方々もお誘いいただきご来場ください。お待ちしております。

記

期 日 5月4日(金) (みどりの日)
時 間 午前9時～午後2時
場 所 天草町大江お万が池公園一帯
イベント内容

- ・ジャガイモ掘り取り体験
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・イカダレース大会
- ・お魚カルタ大会
- ・くまモン号乗車体験

バザー

- ・コロッケ、カレー、つみれ汁、他
- 物産販売
- ・色々なお店が出店されます

問合せ先

大江地域づくり振興会 (42-5225)



ジャガジャガ祭が実施されます
(ジャガジャガ祭実行委員会)



写真 後列左より(砂川君・竹本君・池田君・川端君)
前列左より(平山さん・濱石さん・園田さん・中濱さん)

平成29年度

天草中学校卒業式

平成30年3月11日(日)に天草中学校で平成29年度卒業証書授与式が行われました。今年度の卒業生は27名で大江地区出身者は8名です。多数の来賓、保護者、在校生そして先生方が見守る中、授与式が行われ、心も体もたくましくなり、凛とした姿で一人ひとり卒業証書を受け取っていました。保護者の皆さんは我が子の成長した姿に涙し、最後までしっかりと見守っていました。

幼い頃からずっと一緒だった仲間との別れとなりますが、将来の夢に向かって大きな一歩を踏み出しました。

卒業していく君たちへ、自分の無限の可能性を信じ、様々な事に挑戦し大きく成長して下さい。私達はずっと応援しています。

夢にときめけ！明日にきらめけ！

(ごん)かて聞いたよな……
(文・濱石裕也)

空がオレンジ色に染まり、沈んで行く夕陽を目にする時、私は故郷の天草を思い出す。故郷を離れ六十年。長く、長い年月が過ぎ去りました。学業を終え、仕事を求め都会に出た頃は、社会の冷たさと厳しさに涙し、何度、大江に帰ろうと思ったことでしょうか。今では私も、ゆっくりとした時間を頂けるようになり、ここ数年は帰郷することが多くなりました。私達を待つ家は無くなりましたが、実家の跡地である、ロザリオ館が私達家族を迎え入れてくれます。隠れキリシタンであった先祖の踏み絵が館内にも残されており、私達家族にとりましては何よりの幸せの居場所であります。そして、根引山の孤児院跡地は、私の父が育った場所でもあります。清貧を貫き通し、懸命に子供達を養育して下さったガルニ工神父様。後に、父は農家の養子となりましたが、農作業の辛さから養家を逃げ出し孤児院に戻ったことがあったそうです。そんな父に、ガルニ工神父様は、「お前は行くところがなかけん、辛抱せんばなあ」と、強く手を握り、諭したと伝え聞いております。根引の里に参りますと、そんな光景が頭を過ぎり、在りし日の父の姿に想いを馳せ、胸を熱くしております。

いつ帰郷しても、私達を迎え入れてくれる大江の人々と自然。そして、キリシタン文化を絶やさずに守って下さっている皆様に心から感謝申し上げます。

隠れキリシタンの里、天草大江。受け継いだ信仰は誇り高き、私の心の世界遺産です。

出郷者のひるば



井保 秋由
(京都市在住・越崎地区出身)

天草のイベント情報

4月 (April)

- 4日(水)・・・天草町戦没者追悼式
- 10日(火)午前・・・天草小学校入学式
- 10日(火)午後・・・天草中学校入学式
- 22日(日)・・・天草小学校授業参観
- 29日(日)・・・下田温泉まつり

5月 (May)

- 4日(金)・・・ジャガジャガ祭
- 20日(日)・・・天草中学校体育祭
- 27日(日)・・・天草小学校運動会
- (下旬)・・・ゴキブリ退治大作戦

6月 (June)

- 3日(日)・・・クリーン作戦
- 23・24日(土・日)・・・中体連



ありがとうございました

◆ふるさと応援寄附金

- 十亀隆之輔 様 (福岡県)
- 八尾 満 様 (京都府)
- 林 健太郎 様 (北海道)
- 岡田 卓也 様 (宮城県)
- 竹森 要 様 (千葉県)

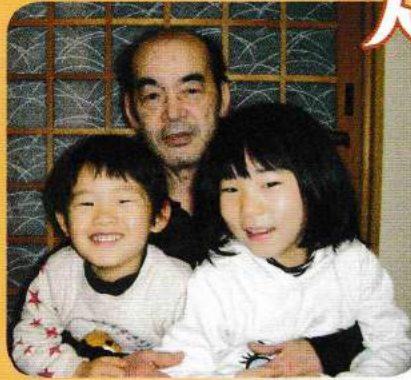
※寄付の公表に同意された方のみを掲載しております。

◆広報郵送料

- 赤崎 照哉 様 (茨城県)
- 立花 満裕 様 (兵庫県)
- 明瀬七州男 様 (福岡県)



大好きっ絆



大好き おじいちゃん

森口 ^{ミラ}美藍ちゃん (6才)
^{タカヒロ}隆裕くん (3才)

(黒勤根：森口常孝さんのお孫さん)



じいちゃんは、私がお腹が痛い時とか診てくれるので好きです。最近はいいちゃんのお仕事に時々ついて行きます。終わったらケーキやアイスを買ってくれます。私は四月から一年生になります。土曜日はいいちゃんと留守番をして、もっとお手伝いをがんばります。

ちよつとおじゃましま～す

小林造船所様 (軍ヶ浦)

小林一雄社長にお尋ねしました。



▼創業何年ですか
71年になります。

▼今何人で仕事をされていますか
7名です。

▼今造っている船はどんな船ですか
観光ダイビング船(沖縄県久米島)

▼今と昔の船で違うところはありますか
開業時は木造船でしたが、昭和50年頃からFRP(繊維強化プラスチック)船に変わってきました。

▼船主さんへ一言

船主さんが安心して乗れる船を第一に考えて建造しています。また、いつも海上安全と大漁を祈願しています。

事務局・・・お忙しい中ありがとうございました。大漁が続き、新造船の受注が増えますことをお祈りします。



くまのついで

大江地域づくり振興会だよりも、今回で節目の60号を発行することが出来ました。大江地区の皆さんやご愛読いただいている出郷者の方々にも感謝申し上げます。

毎回、編集委員一同皆さんに楽しく読んでもらえるようにとの思いで発行しています。これからも地域に根ざした振興会だよりを目指して発行していきますので、ご愛読よろしくお願ひします。

(広報委員長 久保山 淳也)

